

白亜会 一般社団法人登記完了報告

宝田 重夫(S41年電気科卒)

2019年6月の総会で承認された白亜会の法人化が完了致しました。

白亜会が所有する3ヶ所の不動産(長崎1部屋、桜台2部屋)について従来個人名義で運用されていたものを正式に「一般社団法人白亜会」として登記致しました。これによって会の活動の原資を法的に、安定的に確保することになりました。これまでは同窓会の法人化は厳しく規制されており、止む無く変則的な運用を強いられておりましたが、その緩和が平成20年12月1日より「営利を目的としない社団、財団について、事業の公益性の有無にかかわらず、登記のみによって簡便に「法人格」を取得できるようになりました。そこで今年法人化へ移行しました。

この法人化に伴う白亜会の活動であります。従来は活動と変化はありません。法人としての白亜会は、主として従来幹事会によって構成され、この幹事会が年間の活動内容を検討、同窓会としての白亜会定期総会に提案していくという、いわばコアとして活動していくこととなります。このことは従前の活動そのままです。

設立にあたり設立時理事として斎藤勇、永田昇、宝田重夫、設立監事は広瀬一芳の4名を登録しました。そして設立時社員として永田昇、宝田重夫の2名を登録しました。今回作成しました「一般社団法人 白亜会 定款」は2020年度定期総会で配布します。

斯様に運営の骨格を固めた白亜会ですが、今年2020年母校は創立100周年を迎えます。これに合わせて白亜会も、新たな活動を模索して参りたいと思います。白亜会の活動が少しでも母校のネームバリュー向上に寄与することが眼目であります。今までも些少なながら母校在校生の文化活動に支援して参りましたが、有為な在校生への経済的支援、技術向上プログラムの創設支援、対外文化活動の支援拡充、等検討を着手して参ります。少しでも多くの学生が北豊島工業高校で学びたいという流れを期待するものです。

白亜会の皆様にあっては、今回のコア部分の法人化についてご理解いただくとともに、今後の活動について、幅広いご意見をお聞かせいただき又ご協力をお願いいたします。